

平成 29 年度 宇都宮市立緑が丘小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標
実践を通して、自ら学び続ける力を身につけながら、心豊かにたくましく生きていく児童の育成
- (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）
「自分をつくり自立する子（生きる力）」
・友達をつくり力を合わせる子（社会性） ・豊かな心をつくる子（感受性・主体性）
・丈夫な体をつくる子（意欲・気力・体力） ・確かな考えをつくる子（課題解決力）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ 「地域社会に根ざしたこれからの学校づくり～家庭・地域社会との相互連携による、生きる力をはぐくむ教育の推進～」

目標や課題の明確化・重点化・共有化を図り、一貫性のある教育活動を展開して、生きる力をはぐくむ教育を推進するとともに、適材適所の役割分担と課題解決への取り組み体制の工夫により、校内体制の活性化、強化を図り、教育目標の確実な具現化に努める。また、地域協議会や地域学校園を中心として家庭や地域社会との相互連携による教育をさらに推進して取組の効果を高めながら、児童の教育を通して地域社会にも貢献する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 知・徳・体のバランスを大切にし、確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体など、「生きる力」をはぐくむ教育を推進する。
- (2) 教育目標の達成を目指し、一貫性のある教育活動を展開する。
・目標及び課題の明確化、重点化、共有化、評価の工夫
- (3) 児童の実態及び学校や地域社会の実情等を踏まえ、指導の重点化を図った成果の見える取組を展開する。
・「頑張る学校プロジェクト」予算の効果的な活用
- (4) 教職員一人ひとりが目標を共有し、学校経営への参画意識を高めて、それぞれの立場から課題解決に向けて主体的に考え、実践する組織づくりに努める。
・教職員一人一人の長所を生かす校内体制の工夫と教職員評価の効果的な実施
- (5) 組織体制の強化を図り、課題や問題、事故等に対しては、組織的な対応に努める。
・校務運営委員会、学年会、児童指導対策委員会、特別支援教育委員会等の充実
- (6) 小中一貫教育地域学校園の実施に伴う組織間の連携強化
- 【陽南地域学校園教育ビジョン】
地域に根ざした豊かな心を育む小中一貫教育 ～子どもの自主的な活動を通して～
- (7) 開かれた学校づくりを推進し、共通の課題意識に基づく家庭・地域社会との連携による教育を推進する。
・活性化された魅力ある学校づくり地域協議会との連携強化
・学校支援ボランティアの積極的な導入
・各種たより、HP 等による積極的な情報発信・授業参観・オープンスクールの改善

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】
- ・「明るいあいさつ・楽しい学校」をスローガンに家庭・地域と連携し、人と関わる楽しさや学ぶ楽しさ等を実感できる学校づくりに教職員一人一人が主体的に取り組む。
- 【学 習 指 導】
- 「学び合い、ともに育つ」～学び合い、自立を目指す児童の育成～
・習熟度別学習やコース別学習、グループ学習等を通して、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・自分の考えをはっきりと示し、話し合いなどの集団の学びを通して思考を高める。
・話し合い活動を充実させ、学び合う力を高める高めることに重点を置いて日常の学習活動の充実に努める。
- 【児 童 生 徒 指 導】
- ・集団生活における規範意識の育成と、思いやりの心をもって協力できる児童の育成に努める。
・児童の特性やよさを認め、励まし、自己肯定感や有用感を高めるとともに、たくましさを育成する。
- 【健康（保健・安全・食育）・体力】
- ・自分の心や体の様子に関心をもち、進んで体力向上に努め、健康・安全に生活しようとする児童を育成する。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 児童の学習意欲を高める授業を工夫する。（学習課題設定の工夫による一人一人に学びのある授業の実践・人材活用等の工夫） ② 学級会活動や縦割り班活動、みどりタイム等で、<u>話し合い活動を意図的に取り入れ、児童の主体的な活動を推進し、豊かな人間関係を構築する力を育てる。</u>		
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① <u>個々の児童の学習指導上の課題を常に意識し、ねらいを明確にして学習の見通しを持たせた授業の展開に努める。</u> ② 自ら進んで望ましい行動がとれるような生活面の指導を、全職員が <u>児童指導対策委員会などを通して 共通理解をした上で、組織的に</u>行う。		
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 基本的生活習慣を身に付けようとする意識を高めるために、「みどりの子のやくそく」を各学級に掲示し、重点目標について繰り返し指導する。 ② <u>生活当番（教員）が児童の実態から問題点を見出し、改善に向けた生活目標を設定して全職員で重点的に指導に当たる。</u>		
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細やかな指導をしている」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 授業研究に積極的に取り組み、児童一人一人が意欲を持って取り組める <u>分かる授業の工夫</u>に心がけ、学力向上に努める。 ② スキルタイム(朝の学習)を充実させるとともに、<u>家庭学習について「家庭学習のヒント集」（陽南地域学校園）を活用し、具体的な指導・支援を行うことにより、基礎・基本の確実な定着を図る。</u> ③ T・Tによる学習や少人数による習熟度別学習を充実させるとともに、特別支援教育の考え方を生かした指導を行うことにより、個に応じた指導の充実を図る。 ④ 学力向上プロジェクト研修の活用。		

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級懇談会や学校だより、HP 等で積極的に学校の方針を説明・公表するとともに、保護者や地域といじめに関する情報交換に努める。 ② 「いじめは絶対に許さない」、「いじめには大人が介入する」を全教員で認識し、児童の主体的な取組（いじめ撲滅集会）も促しながら、未然防止、早期発見・早期解決に組織的に取り組む。	
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 全ての学校行事について、全体アンケートや学校点検の結果をもとに、担当者を中心に改善策を策定する。 ② 週案の記録と反省、各行事実施後の評価などにより、具体的な改善策を明確にして次回に生かす。	
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 教職員・地域住民・保護者アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。」 ⇒教職員・地域住民・保護者の肯定的回答 80%以上	① HP のリニューアルに伴い、児童の様子を情報提供するページの更新に努める。 ② 5 月と 12 月に学校公開日を設け、自治会への回覧文書やHP 等で広く広報するなどして、より多くの人々に学校の教育活動を理解してもらうよう努める。	
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 地域資源や人材などの教育力を生かした体験型学習を充実させ、多くの教科や活動で学習支援ボランティアの有効な活用を図る。 ② 緑が丘小地域協議会に学校の情報を提供するとともに、地域協議会の活性化と活動の充実を図る。	
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され学習しやすい環境である」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 児童の発達の段階にあわせた清掃指導の充実と、学校支援ボランティアやPTAの奉仕活動などを活用した校内環境整備に努める。 ② 計画的な環境整備を継続し、クラブ活動や委員会活動を知らせるコーナーをさらに発展させ、児童の主体的な活動を支援する。	

教育活動の状況		B 1 危機管理対策等を充実させる。 【数値指標】 保護者アンケートの「学校は、避難訓練、引き渡し訓練や登下校の安全対策を計画的に行い、危機管理対策を充実させている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 登下校の児童の安全については、地域の実情に応じてボランティアの協力を依頼する。 ② 災害時の児童引き渡しや竜巻の時の行動の仕方を理解させ、訓練で実践化を図る。 ③ 不審者侵入対策の避難訓練の工夫をする。	
	生活	A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 代表委員会の計画であいさつ強化週間を実施したり、あいさつ標語を掲示したりするなど、児童の主体的な活動によるあいさつの励行に努める。 ② <u>陽南中学校地域学校園や、緑が丘小学校魅力ある学校づくり地域協議会との連携を図り、保護者、地域と連携協力したあいさつ運動を実施する。</u>	
		A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 道徳の時間において、正しい言葉づかいや思いやりの心を育む道徳資料を活用し、実践力を身に付けさせる。 ② 改まった場での「<u>です・ます</u>」、<u>友達へ「さん」付けで呼び合う指導を</u>、徹底する。	
		B 2 児童は、読書の習慣が身についている。 【数値目標】 児童・保護者・教職員のアンケートの「児童は読書の習慣が身につく、読書が好きである。」 ⇒児童・保護者・教職員の肯定的回答 80%以上	① 全校読書や読書週間、ボランティア等による読み聞かせや家庭での読書の奨励を全校体制で実施する。 ② 学年に応じた必読図書を紹介し、家庭での読書を奨励する。	
	健康・体力	A 12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 運動や健康に目当てをもって取り組めるよう、各種検定表（長期休みには運動実践集）を作成したり、縄跳び・逆上がり・水泳等で補助具等を活用させたりして意欲の向上や技能の向上を図る。 ② 体育委員会による長なわ大会・ドッジボール大会など児童による運動競技大会を計画し実施する。	

学 習	A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 各学級での実態に応じた食育指導、及び給食だより・食育便りなどを通して、児童が好き嫌いを少なくする努力をするよう、家庭と連携を図る。 ② 「何でも食べよう大作戦」や、食生活に関するアンケートを実施し、結果を保護者に知らせ、家庭での協力を求める。 ③ 地域学校園内で、同一の日に「お弁当の日」を実施し、9年間を通した食育ファイルに記録する。	
	B3 自己の体の健康に関心を持ち、安全な生活をしようとする。 【数値目標】 児童アンケートの「基本的な生活習慣を身につけ、健康的な生活をしようとしている。」 ⇒教職員・保護者・児童の肯定的回答 80%以上	① <u>給食時や清掃時の身支度指導、歯みがきや保健委員会の衛生検査など、学校生活の中の様々な保健指導を通して、基本的な生活習慣を身につけ、衛生的・健康的な生活ができるよう指導する。</u>	
	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業中に進んで話し合いわかりやすく発表するなど積極的に学習している」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 基本的な学習習慣を定着させるために「家庭学習のヒント集」を活用し、学年に応じた家庭学習の指導を継続する。 ② 特別活動の話し合い活動の実践を他の教科・領域にも生かして、<u>主体的に話し合い活動を実践する力の育成を図る。</u>	
	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上	① 朝のスキルタイムに <u>T・Tを取り入れて</u> 全校体制で実施し、漢字や基礎的な言語事項や計算練習を繰り返し学習したり、個に応じた学習をしたりする機会を確保する。 ② 先生の話や友達の意見をよく聞き、自分の考えをはっきりと持ったり話したりすることができるよう、「基本的な学習態度」を年度当初に共通認識し、指導を徹底する。「みどりの学びスタートパック」の活用。	

	B 4 児童が学び方を身に付け、生き生きと学習に取り組めるよう授業を工夫し確かな学びを培っている。 【数値目標】 児童アンケートの「授業にいろいろな工夫があって楽しい。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① 教師全員が授業を公開し、研究会を行うことで、授業力向上に努める。 ② <u>児童の変容を見取る視点での授業参観を実施し、</u>児童や教師の振り返りを効果的に活用しながら、一人一人が主体的に思考・判断し、表現する力をつけるため、「学び合う」活動を取り入れた授業研究に取り組む。	
本校の特色・課題等	B 5 豊かな人間関係力を育てる場を工夫し、社会性の育成に努めている。 【数値目標】 児童アンケートの「縦割り活動で、他の学年の友達と協力して進んで活動している。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① 特別活動のの研究を生かし、児童会活動や縦割り班活動が <u>より児童の主体的な活動となるよう工夫する。</u> ② 委員会活動や学級活動において子どもたちによる自治的な活動を実践する。子どもたちの良さを生かしてみんなに認められ、自己肯定感を感じられる場を意図的に設定する。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。